

幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン策定方針（案）

1 目的

平成 28 年度に策定した「幌延町地域振興（観光）計画」（以下「計画」という。）に基づき、基本戦略を実践するための具体的施策（既存観光資源の魅力向上や活用、特産品開発及び拠点整備等）について検討し、観光振興による地域振興を図ることを目的に、アクションプラン（行動計画）を策定する。

【幌延町地域振興（観光）計画：基本戦略】

1. 既存観光施設の魅力向上
2. 雄大な自然資源の活用
3. 幌延らしい新しい観光の創出
4. 幌延らしい滞在メニューの開発
5. 地域特産品の開発
6. 冬の賑わい創出
7. 情報発信の強化
8. 幌延町と宗谷地域における交通・交流の要処となる拠点の整備

2 策定体制

「幌延町まち・ひと・しごと創生会議」において行う。※事務局～産業振興課企画振興グループ

- (1) 委員：22 名
- (2) オブザーバー：18 機関

3 策定行程

- (1) 関連事業者からの意見聴取
商工会、飲食店、旅館等町内の観光関連事業者から、現状・将来展望等について聴き取りする。
- (2) 検討委員会、ワークショップ及び庁内協議の開催
アクションプランに盛り込む内容について、3つのテーマのもと検討する。
 - ①テーマ：「観光コンテンツ開発」 / 「特産品開発」 / 「拠点整備」
 - ②開催予定回数：検討委員会【5回】 / 検討ワークショップ【2回】 / 庁内協議【3回】
- (3) 計画の推進に向けた試行調査等の実施
計画の推進方策等について検討するため、試行調査を実施する。
 - ①町民ボランティアによる施設の環境整備（トナカイ観光牧場ノースガーデン等）
 - ②体験コンテンツ開発（遊び体験：カヌー・自転車・釣り等）
 - ③地元食材等を使用した料理の試食会（生乳・トナカイ・合鴨等）
- (4) 講演会の開催
観光振興に関連する講演会を1回開催する。

計画の検討経緯

計画の策定にあたっては、『幌延町まち・ひと・しごと創生会議「幌延町地域振興（観光）計画」検討会』を設置し、内容検討等や観光資源調査を行いました。また、町民の意見を広く取り入れるため検討ワークショップの開催、さらに各種アンケート調査、小・中・高校生を対象とした観光アイデアコンテストを実施し、計画策定の参考としています。

表1.本計画策定に関わる調査・検討

項目	概要	実績
幌延町地域振興（観光）計画」検討会	観光関係者や公募の他、産官学金労言議による検討会を開催	委員として22名が委嘱され、全5回の検討会を開催した。
検討ワークショップ	特産品開発や拠点づくり、まちづくりの3つのテーマで検討	延べ73人が参加し、検討ワークショップを全3回開催した。
観光資源調査	夏期・秋期・冬期の観光資源について関係者や町民等と調査	延べ35人が参加し、夏・秋・冬全3回の調査を実施した。
おいでよ！ほろのベアイデアコンテスト	幌延町に住む小学生、中学生、高校生を対象にアイデア募集	全9作品の応募があり、グランプリ、準グランプリ等を選出した。
町民アンケート調査	観光に関する町民の意識等を把握するためのアンケートを実施	調査票103票を回収し、町民の意識等について分析した。
旅行者アンケート調査	旅行者のニーズ等を把握するため観光客にアンケートを実施	調査票404票を回収し、旅行者のニーズ等について分析した。
まちづくり講演会	地域活性化と観光に関する講演会を開催	商店街活性化や道の駅・景観の専門家を招聘し、講演会を開催した。

目標の設定

本計画は、幌延町総合計画の下位に位置付けられることから、「幌延町総合計画」及び「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の観光振興に関する数値の達成を目標とします。

表2.幌延町総合計画及び幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標

記載されている計画		指標	平成24年度実績	平成31年度(2019年度)目標
第5次幌延町総合計画	幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
●		観光資源に恵まれたまちと思う人の割合	13.1%	18%
●	●	観光入り込み客数	121,782人	130,000人
●	●	トナカイ観光牧場入場者数	48,244人	50,000人
	●	鉄道系観光客数	—	500人

今後の推進体制

観光に関係する組織や団体の他、商工業者、農業者、町民、行政等、幅広い主体がそれぞれの役割に応じて連携・協働し、まちの総力をあげて、本計画を推進する必要があります。

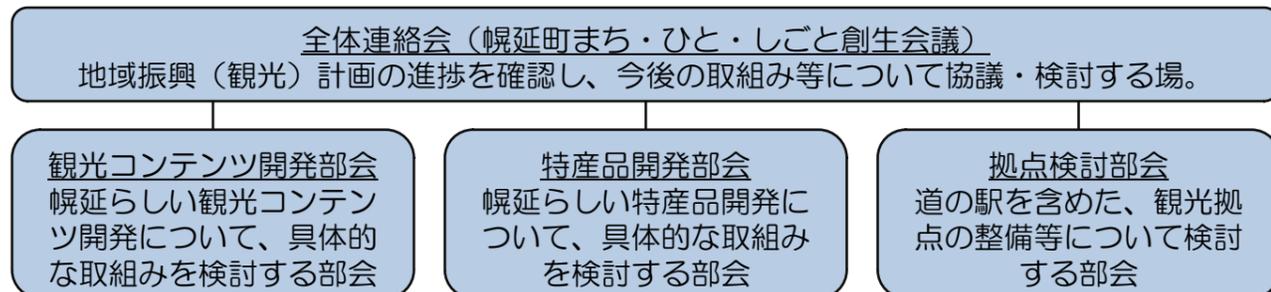


図2.今後の推進体制図

幌延町地域振興（観光）計画

【概要版】

「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ
～北緯45°のゲートウェイ【関所】を目指して～



平成29年3月

目指す姿

メイン

「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ

サブテーマ

～北緯45° のゲートウェイ
【関所】を目指して～

基本理念

- ①観光振興を通じてまちが“潤い・元気”になる
- ②幌延にしかない貴重な体験・経験を提供し、“幌延ファン”を増やす
- ③立地を活かし、宗谷地域を訪れる観光客の“交流点”となる
- ④エネルギーを生産・研究するまちとして、“観光・環境・学術の共存”を目指す
- ⑤“町民みんなが活躍”することで、人口減少に負けない観光まちおこしを実現する



基本戦略

戦略1. 既存観光施設の魅力向上



戦略2. 雄大な自然資源の活用

戦略3. 幌延らしい新しい観光の創出

戦略4. 幌延らしい滞在メニューの開発

戦略5. 地域特産品の開発



戦略6. 冬の賑わい創出

戦略7. 情報発信の強化



戦略8. 幌延町と宗谷地域における交流・交通の要処となる拠点の整備

主要な施策

トナカイ 観光牧場	戦略1-1 観光客受入環境整備の推進
	戦略1-2 トナカイのイメージを活かした演出
ノースガーデン	戦略1-3 美しく花を見せる花壇の整備
幌延ビジターセンター及びサロベツ原野エリア	戦略1-4 自然を体感できるメニューの開発と提供
	戦略1-5 木道等の環境整備
ホソ川風力発電所	戦略1-6 クリーンエネルギーや風車を体感できるメニューの開発
戦略2-1 北大天塩研究林を活用した教育型プログラムの開発と提供	
戦略2-2 四季に応じた体験メニューの開発 (山菜、鮭の遡上、バードウォッチング等)	
戦略3-1 秘境駅等の鉄道資源を活用した観光振興	
戦略3-2 サイクリングやカヌー、フィッシング、徒歩等のクワイエットスポーツによる観光振興	
戦略4-1 豊かな自然を身近に感じるキャンプ場の利活用	
戦略4-2 酪農等を体験する農家民泊の実施	
戦略5-1 酪農の6次産業化や特産品開発	
戦略5-2 トナカイや合鴨の生産強化及び新たな商品の開発	
戦略5-3 地域特性を活かした農業の展開	
戦略5-4 湧水の活用	
戦略5-5 外部連携による食資源の活用	
戦略6-1 アイスキャンドル等による官民連携・協働イベントの開催	
戦略7-1 動画等による情報発信の強化	
戦略7-2 観光大使による情報発信の強化	
戦略7-3 町内飲食店の情報発信の強化	
戦略7-4 ホスピタリティの充実	
戦略8-1 町民や多様な旅行者が集う拠点	
戦略8-2 地域特産品の販売など、まちのブランド化、活性化につながる拠点	
戦略8-3 道や川など多様な移動手段の拠点	

図1.計画内容一覧

幌延町地域振興(観光)計画 関連事業者からのヒアリングについて

平成29年6月21日

第1回幌延町まち・ひと・しごと創生会議

1. ヒアリングの概要



<目的>

平成28年度に策定した「幌延町地域振興（観光）計画」（以下「計画」という。）に基づき、既存観光資源等の磨き上げ、特産品開発及び拠点整備について検討し、観光振興による地域振興を図ることを目的に、アクションプラン（行動計画）を策定するにあたり、観光関連事業者における現状・将来展望について把握することを目的とします。

内容：観光関連事業者へのヒアリング

時期：6月12日（月）～13日（火）

設問及びヒアリング対象：

設問	ヒアリング対象			
	飲食関係	宿泊関係	観光関係	企業等
基本情報（団体名・代表者名・設立年度・主な事業等）	○	○	○	○
利用者等の現状（利用者数・利用者の属性等） ・繁忙期、閑散期（傾向） ・外国人来訪	○	○	○	×
幌延町地域振興（観光）計画の認識と意見 ・幌延らしい観光メニュー ・特産品開発 ・道の駅等の観光拠点整備	○	○	○	○
幌延町の活性化や振興に関してこれまで取り組んだこと ・成功例、失敗例	○	○	○	○
幌延町の活性化や観光振興において課題と感じていること	○	○	○	○
幌延町の活性化や観光振興において重要視すべきこと	○	○	○	○
幌延町の活性化や観光振興を図るために今後取組みたいこと ・町民／団体、企業／行政が取組むべきこと	○	○	○	○
その他	○	○	○	○

2. ヒアリングの結果(幌延町地域振興(観光)計画の認識と意見)

		幌延町地域振興(観光)計画の認識と意見
		計画全体に関するご意見(幌延らしい観光メニュー／特産品開発／道の駅等の観光拠点整備)
1	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 率直に言うと、どの施策も発展性が見られない。 天塩と稚内の間で道の駅を作っても利用者は見込めるのかという疑問はある。
2	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の計画検討においては、すでに役場内で固められた計画を合意するだけのように感じた。 ゲートウェイという言葉の使い方について意見を申ししたが、聞き入れられずそのまま活用された。その理由については説明が欲しかった。
3	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 酪農や農業を学ぶ学生の実習や単位取得で、幌延で体験してほしい。 学生の受入においては、安価に滞在などできる受入施設が必要となる。既存の空き家等を活用し、整備出来れば良い。
4	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 純粋な民間企業ではペイできない事業も計画の中にはあるだろう。儲からない仕組みならぬものは、やるべきではない。
5	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 検討会は「議論」になっていない。委員から一言ずつ意見をもらう形では、議論にならない。それぞれの想いが反映出来ているかは疑問が残る。 道の駅については、農家さんは自らの生産物を消費者に届けるきっかけの場所になる。道の駅が出来たとしても、商工業が力をつけないと町に魅力が出来ない。町に人が来ない。
6	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 幌延町の来訪目的や立寄り先のひとつになればいいと思う。ゆめ地創館が観光の核にはなるとは思わない。 国の機関であるということもあり、提案しづらいところもある。リニューアルもしづらく、町・道との協定の枠内で事業を進めるのみだと考えている。
7	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 幌延町の観光振興に資する施策を打ってほしい。ただ、他の地域と違うものを。まず、幌延がどこにあるのか分かってもらっていない。 旅行雑誌や道北団体旅行の立寄り先として提案してはどうか。
8	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の調査で行った北大研究林は感動した。幌延に住んでいるが、あのような場所があるとは知らなかった。研究林付近の林道も風景が綺麗な場所がある。研究林については、専門的な知識を持った方がガイドしないと面白くない。
9	企業等	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドについては、アジア人は態度が悪い。ほとんど幌延町には外国人観光客は来ていない。研究者は来る。 トナカイ観光牧場をオートキャンプ場にするのはどうか？アトラクションなども作る。上勇知にある自然体験学校のようなもの。 コテージなどを作ったりするのも良いが、宿泊は豊富に任せてもいいのではないかと？幌延には温泉はない。 秘境駅はグッズも売れず、一般受けしないので、一旦区切りをつけるべきではないか？そのお金を別の取組に投入した方が良い。
10	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 会社として、関与しようがない。町と協働するにも未確定要素が多く、スピード感がない。それよりもインフラなどの町の施策に合わせて企業戦略を練る。 長期滞在者に休日の過ごし方を提供する。
11	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 夢を語り計画を策定することは賛成であるが、実現すること別物だと思っている。 トナカイの缶詰については、数は多くないが旅行者から購入希望がある。ただ、数が少ないため欠品することがある。残念に思う。

3. ヒアリングの結果(幌延町の活性化・地域振興について)

幌延町の活性化・地域振興について

幌延町の活性化や観光振興における課題や今後重要視すべきこと

1	観光関係	<ul style="list-style-type: none"> 観光旅行者を対象とするのではなく、町民が楽しめるイベントを行い、口コミで広げて行ければ良い。町民が楽しんでいなければ観光客は来ない。 いろいろな取組みを行ったが、途中でやめてしまうことが多い。今年度をきっかけに、できることから始めて、長く続けられるようにしたい。 今来ている旅行者も町に来ることが無い。道の駅の構想にも重要であるが、町への導線をつくる。町に人を呼ぶためにも、食や特産品開発が必要。
2	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生などの国の施策に振り回されている印象はある。 何も無いことを売りにすべきではなかろうか？ 企業誘致条例がしっかりしていれば、職員は誘致に動ける。
3	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 特産品が無いことも課題と思う。自社で真空パックの味付けジンギスカンを商品化する予定がある。羊も幌延産が良いが今は出来ない。酪農の施設であれば、羊を飼育することはできると思う。
4	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 酪農は搾乳と日々の酪農経営で忙しく、人手が不足している。経営者も高齢になっているため、大きな投資が出来ず、小さな経営となっている。 若い人が足りない。酪農は収入が大きい、支出も大きい。若い人は休みも無く、倦厭される。 幌延らしいオリジナルの特産品があれば良い。
5	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 「本物」が食べられること。 地元が見るとネガティブなものでも、外から見るとポジティブに見えることもあり、それを大切に扱うこと。 「活性化」の先が見えない。雇用を増やしたいのか？単に観光資源を増やしたいだけなのか？選択と集中が必要。
6	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 経済効果に繋がるようにすることが必要。評価も人数だけではなく、経済効果についても把握する必要がある。 もともとは地方創生からスタートしている。人口減少による人手不足の解消等を地方創生で議論していた。最初の根本を忘れてるように思う。
7	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 幌延町で目玉となるコンテンツが無いこと。自然はあるが、自然を活用した施設や体験、ガイドがない。 遊ぶ場所、買い物できる場所、見る場所が無いと人が集まらないのではないかと。
8	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なプランは存在しないと思う。 検討する過程も大事だが、取り掛かりやすいプロジェクトをやってみるのもいいとは個人的には思う。例えば、特産品の試験的なネット販売など。
9	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組みについてはリーダーシップをとる人が重要。 幌延は「好きな人」が個人的な趣味嗜好を目的に訪れる町だと思う。 秘境駅や自然好きなどの方が、何を求めているか分からない。観光客と町を繋ぐものが無いため、実感がわかない。
10	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験に特化した予算組みをしてほしい。
11	観光関係	<ul style="list-style-type: none"> 研究林については資源であるが、ガイドが必要。
12	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットが曖昧だから、計画も焦点が絞れず、行動にも移せない。 出来た計画に対して、商売の軌道に乗せてほしいと依頼されても、儲ける気がしない。 今までの計画を並べてみて、何が進んで何が滞っているかを精査するのもいいのでは？
13	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 町民が積極的に関わり、理解してもらうことが必要。さらに、どんなことでも少しずつ取組んでみるのが重要。 幌延町だけではなく、他の町との連携も重要になる。

4. ヒアリングの結果(幌延町の活性化や観光振興を図るために今後に取り組みたいこと)

		幌延町の活性化や観光振興を図るために今後に取り組みたいこと		
		町民が取り組むべきこと	団体、企業が取り組むべきこと	行政が取り組むべきこと
1	観光関係	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が中心となって活動して欲しいが、若い人も少ない。いろいろな役があり負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> トナカイ料理コンテストも面白いかもしれない。 食肉として出荷するためには、申請が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 役場は若い人が増えたため、イベントなどでは戦力になっている。
2	企業等			<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所をつくり、レンタサイクルなどを行う。シルバー人材センターなどの力を活用するのも良いだろう。
3	企業等		<ul style="list-style-type: none"> 天塩町などは農家レストランなど六次産業化が進んでいるが、幌延は全く進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺である程度の生活施設が集約されており、生活しやすい。高齢者の住みかえも含めコンパクトなまちづくりをした方が良い。JRの存続の取組みになる。
4	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化が進んでおり、幌延でも作物ができないか個人的に実験してみたい。作物であれば、小規模で高齢者でもできる。町がハウスを建ててあげれば良い。道の駅での販売にも繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 	<ul style="list-style-type: none"> 学生の受入については、宿泊施設の箱モノが必要となる。今ある空き家などを活用すれば良い。 研究センターに来ている研究者や大学生等との交流を深め、「学」を活用する等さらに交流を深める。
5	企業等		<ul style="list-style-type: none"> 特産品の開発ならできる。お菓子屋さんをやってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 就農支援の受け入れは農園で行うので、研修後の新規就農者が気易く農地を手に入れられるように、町は支援してほしい。 生産・製造・販売が町内でできるような仕組みづくり
6	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 町の山菜等を活用した試食会を有志で実施し、新しい特産や食材の活用について、検討・輪を広げられるきっかけづくりを行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民や町の商工業者とのつなぎ役になりたい 	<ul style="list-style-type: none"> 行政が新しいことを始めるには時間がかかる。観光協会などは、外に出して意思決定を速くし、取組みを行う必要がある。
7	企業等		<ul style="list-style-type: none"> 幌延で働く個人としては、地域に協力したいが、企業の方針があるためなかなか難しく、苦しい所。 若い職員が町に出て、交流するような機会があれば良い。 	
8	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 町民が気軽に情報発信ができるような町民投稿用SNS 	<ul style="list-style-type: none"> 何ができるかわからないが、協力したい気持ちはある。ただし、施設の目的としていること以上のことは出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 使い勝手の良い負担率の無いライトな補助金があれば、何かしたい人は動きやすくなるのではないかな？
9	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 行政と手を取り合ってほしい。例えば、街の行事に積極的に参加するのも良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 秘境駅の存続に向け、クラウドファンディングやふるさと納税を盛んに。ただ、一方では、秘境駅を整備するなど観光客には望まれていない側面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民が気軽に参画できる体制づくりやイベントを作ってほしい。またそのイベントには役場職員も積極的に参加してほしい。
11	企業等		<ul style="list-style-type: none"> 観光貸切もコースを設定すれば対応可能。しかし、運輸局にコースの届け出が必要である。 	
12	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 町がどこに舵を切ろうとしているかわからないので、対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬まつりをまずはやりたい。ただ、町の助成は、1/3しか出ないので、寄付金や当日の物販で賄う。 	
13	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の中には、本来商売人が自助努力すべきことも含まれているような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要性が感じられない限り動かない。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発などの新規事業は、民間企業にとってはリスクが高いためチャレンジし辛い。そのようなリスクの高い事業こそほど町が率先して実行してほしい。
14	宿泊関係	<ul style="list-style-type: none"> 今取り組んでいる事に対して、町が一丸となって協力する体制を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会は、町の土台をつくり、町を盛り上げる組織であるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の意見を聞き事業を遂行することも重要であるが、町に必要なこととして町民に思いを伝える。

ほろのトナカイ観光牧場 ノースガーデン フラワーボランティア募集！！



幌延町では、平成28年度に幌延町地域振興（観光）計画を策定し、今年度より具体的な取組みを推進します。その一環として、魅力的な『トナカイ観光牧場・ノースガーデン』を目指して、ノースガーデンの花壇の花植えや草取りなどのボランティアを募集します。

日時	平成29年6月30日（金） 10:00~11:30
集合場所	トナカイ観光牧場 駐車場
ボランティア 作業予定	青いケシの苗の植栽作業 その他作業（※時間がある場合、除草作業等）



当日の服装・持ち物

- ・ 動きやすく、汚れても良い服装・靴でご参加ください。
- ・ シャベルなどを用意しますが、数に限りがありますので、各自ご家庭で使用されているものがあればお持ちください。

平成29年6月28日(水)までにお申し込みください

氏名	住所	電話番号

※申込みの際は上の表に必要な事項をご記入のうえ、本紙をFAX送信もしくは役場産業振興課企画振興グループ窓口へ提出してください。また、電話でも受け付けております。

◆問い合わせ先及び応募先

幌延町役場産業振興課企画振興グループ
電話：5-1113（内線232・233・234）
告知端末機：5-8814 / Fax：5-2971





「観光コンテンツ開発」「特産品開発」に関する 検討ワークショップ 参加者募集

幌延町では昨年度、観光による産業振興・地域活性化を目指し、「幌延町地域振興(観光)計画」を策定しました。

今年度は、モニターツアーによる「観光コンテンツ開発」、試食会等を通じた「特産品開発」を推進する予定をしており、各プロジェクトの具体的な取組みを検討するワークショップを開催します。



今年の具体的な取組みを一緒に考えませんか？

【応募資格】 町内在住の20歳以上の方

第1回
今年の具体的な取組
みを考える

平成29年7月5日(水) 18:00 ~ 20:00

場所:幌延深地層研究センター国際交流施設

今年度の実施する「2泊3日のモニターツアー」と「地域特産品を活用した試食会」について、「①観光コンテンツ開発グループ」「②特産品開発グループ」に分かれて、グループ討議します。

第2回
今後の取組み・アク
シヨンプランを考える

平成29年12月開催予定

「2泊3日のモニターツアー」と「地域特産品を活用した試食会」の実施結果を踏まえ、これからの取組み・アクションプランについて、グループ討議します。

平成29年7月3日(月)までにお申し込みください

氏名	住所	電話番号	参加希望グループ
			①観光コンテンツ開発グループ ②特産品開発グループ

※応募の際は上の表に必要な事項をご記入のうえ、本紙をFAX送信もしくは役場産業振興課企画振興グループ窓口へ提出してください。電話でも受け付けます。

○問い合わせ先及び応募先
幌延町役場産業振興課企画振興グループ
電話:5-1113(内線232・233・234) / 告知端末機:5-8814 / Fax:5-2971

